



認定特定非営利活動法人

# 青少年の自立を支える会 通信

# 春

平成26年

2014年4月

会報 第59号



## 目次

- 巻頭「実践の先にみえてきたもの」
- ファミリーホーム「はなの家」始めました
- 「育ち・育ての相談室」も始めました
- 事務局報告
- 寄付・会費納入者
- 編集後記



宇都宮北 RC から寄贈された車でとても活躍しています。はなの家でも車がほしいです。情報をお寄せ下さい。

平成 26 年度がスタートしました。この 1 月 1 日に開所したファミリーホーム「はなの家」、そして先日とりあえず始まった「育ち・育ての相談室」についての特集です。

## 実践の先にみえてきたもの

理事長 星 俊彦

皆様のご支援にこころより感謝を申し上げます。

私たちが「青少年の自立を支える会」を立ち上げ、「星の家」を開設したのが平成9年のことです。今年9月になると丸17年が経過することになります。自立援助ホームが全国にまだ20か所しかなかった時代から、100か所を超えた今日まで、私たちは皆様と共に歩んでまいりました。

それは自立援助ホーム「星の家」の設立・運営にとどまらず、若者の自立のための電話相談（自立のホットライン）、社会的養護の当事者活動の支援事業（だいじ家）、そしてこの1月にオープンしたファミリーホーム「はなの家」、さらに児童虐待や貧困、犯罪などの世代間の「負の連鎖」を防止するための事業（子どもの居場所づくり）へと続く、長い道程でした。

私たちは「制度がありお金が出るからやるのではなく、目の前の子どもがそれを必要としているからやるのだ」というのを合い言葉にして進んできました。そしてそれを可能としたのは言うまでもなく、皆様からのご支援です。私たちは「好きにやらせていただいた」と思ってい

ます。有り難いことです。

これまでの実践のなかで、私たちはいくつかのことを学びました。その一つは「ひどい虐待のダメージを負った子どもたちの苦勞は18歳や20歳でなくなるものではない」ということです。当然のことですが、とりあえず何とか社会的自立を果たしたとしても、こころの傷は一生消えないし、親がいないというハンデはなくなりません。社会的養護を担う者として、これは忘れてはならない問題だと思うのです。

同様に、これも当たり前のことですが、人間の成長は命が生まれたときからの積み重ねだと言うことです。あと2、3年で法律的には大人にされてしまうという段階になって、「自立支援」で帳尻を合わせようというのは、ちょっと無理があります。自立援助ホームの人間がこんなことを言うと怒られそうですが、もっと早いうちに何とかすべきです。そうすれば本人はもちろん、周囲の人たちもいらぬ苦勞をしなくてすむ。そういうケースが多すぎます。



というところで、字数も尽きました。あとは

新規事業についての説明をご覧ください。

## ファミリーホーム「はなの家」が始まりました

ホーム長 石川 浩子

昨年春から準備を進めてきたファミリーホームのホーム名は「はなの家」となり、平成 26 年元旦に無事にスタートさせることができました。（\*名前の由来ははなの家だよりに記載しました）これもひとえに関係者の皆様のご支援とご協力の賜物であり心より感謝申し上げます。

年末の引っ越し、荷解きもすまないまま迎えた新年…バタバタしたことは言うまでもなく、クリスマス??あれあれ??でした。

年が明けてからも記録的な大雪で天候も落ち着かず、でしたが、春の訪れとともに「はなの家」の住環境整備もある程度終え、軌道に乗ってきたように感じます。

2月中旬過ぎに小6男児S君を迎え入れたのでホームの子どもたちは男子3人となりました。3月になってからは緊急の一時保護の依頼が2件（小学生計3名）続き、再び落ち着かない期間が…。

児童相談所としては、「はなの家」に対して、一時保護所に近いということや支える会からの支援体制への信頼と期待感を持っています。ですからこれからも一時保護所としての役割も担い、果たしていく機会がふえるでしょう。

ホームを始める前から生活を共にしていた T 君、K 君、Mさんにとって、特に一時保護の子どもたちとの生活は「覚悟はしていたものの・・・こういうことか…」と思い知らされたようです。（部屋から出てきませんでした）

彼らにとってファミリーホームへの移行は否応なしの部分もあったので、私としてはうまく適応してくれるかどうか気がかりでもありました。しかしそんな私の心配をよそに、S 君を迎え入れた当日、それぞれが笑顔で「よろしく」と自ら声をかけていた様子を目の当たりにし、

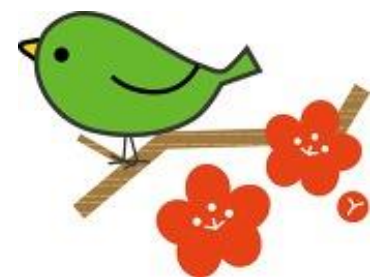
安堵したことをおぼえています。彼らは私が思う以上に成長をしていて頼もしささえ感じる存在になっていました。状況に応じて避難や自己防衛をしながら、きっとこれからもこれまでに私をサポートしてくれるだろうと思います。

「はなの家」がスタートしてから3カ月が経過し、新年度を迎えました。

S 君の中学校入学とともに地域や学校とのかわりも増えます。そして、そう遅くない時期に新しい子どもたちを迎えることにもなり、いよいよ本格的な始動となります。

「はなの家」は、しっかりと子どもたちの養育に携わっていくことは勿論のこと、社会的な情報発信や里親支援にも力を注いでいかなければならないと考えています。それは、これまで先駆的な取り組みをしてきた「青少年の自立を支える会」が運営するファミリーホームだということに他なりません。

私を含めスタッフ一同、このことを自覚し「はなの家」を運営していくつもりですので、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。



この季節、近隣の林からはウグイスの「ホーホケキョ〜♪）」という鳴き声が聞こえ、玄関先からは沈丁花の香りが漂ってきます。ぜひお立ち寄りください。

## 「育ち・育ての相談室」もとりあえず始めました

事務局長 福田 雅章

ここ数年、本会ではハイリスク家庭への直接的な養育支援を模索してきました。虐待が認知されながら「見守り」という名で具体的には何の支援も入らない家ケース、またはもうちょっと支援があれば親子分離を防ぐことができたケースに対して、家庭養育を補完していくことを目指してきました。

26年度は県が「児童虐待世代間連鎖防止事業」を予算化し、宇都宮市、小山市、那須塩原市の3市がモデル事業として実施することとなりました。この事業は在宅にあって十分な養育を受けられない子どもまたは虐待環境に置かれている子どもの育ちを支援するとともに、その保護者の子育てを支援することで、子どもの社会的自立を促進し、ひいては虐待や貧困の連鎖

を断つことを目的としています。

こうした動きに先行する形で、本会では星の家内に「育ち・育ての相談室」を開設し電話相談（028-622-5834）を受け始めました。今後、星の家の近くに民家を借り受け、放課後居場所のない子どもやネグレクト環境にある子どもを受け入れる場を確保し、夕食及び入浴のサービスを提供していきます。

いずれは宇都宮市から委託を受ける形で取り組んでいきたいと思えます。この活動はもっともっと広がっていかねばなりません。関心をもって見守ってください。

**この活動に協力してくれるボランティアを募集しています。**

## 事務局報告

### 総会開催

5月24（土）、13時15分から宇都宮市青少年センター（アミークス）にて総会が開催されます。総会後は研修会（14時45分から）がありますので、ぜひご参加ください。

**研修会**の内容は次の通りです。

講演

子ども虐待の最新トピックス～虐待の社会的コストや虐待された子どものケアについて～

講師 日本子ども家庭総合研究所 主任研究員 和田一郎

**家**

### 屋・土地の寄付がありました

宇都宮市岡本の国道沿いにある家屋（事務所）とその土地を頂戴しました。星の家を出て自立する際に家電や家財が必要となります。寄付の申し出もあるのですが、保管場所がなくてお断りしていましたが、そうした物品を保管しておく倉庫としてとりあえず使用していきます。

ありがとうございました。



## 寄付・会費納入者

平成25年8月1日から平成26年3月末まで  
敬称略・順位不同

### ●正会費

青木孝之 浅香勉 浅香のり子 天池悦子 五十嵐紀久子  
生野裕子 池田純子 石島浩子 石原栄子 糸井克 伊藤米子  
岩田友子 岩本友子 宇賀神文雄 内山成史 江連真代  
遠藤忠 大金幸夫 大野由子 大堀美知 小川暢子 冲杉香織  
荻町守 小村嘉子 小野澤喜美 粕田晴之 加藤久美子  
加藤祥圭 加藤雅子 金子哲也 川上寿一 川鍋節子 北川良江  
喜内敏夫 木村信夫 毛塚義明 越井みどり 小林幸正  
近藤峰明 齊藤幸子 齋藤修一 齋藤洋子 三枝早苗  
酒井由理 坂本真紀子 笹澤忠雄 笹沼栄子 佐藤栄 篠崎孝子  
渋川典子 下泉秀夫 白上桂子 鈴木崇宏 鈴木秀男 鈴木美恵子  
鈴木征夫 曾根美穂子 高橋昭彦 高橋文吉 高原恵子  
田崎祥江 田村範子 田村嘉應 千野ヤイ 寺崎恵美子  
中村悦子 仲村久代 西田一之 橋本伸子 埴智江 人見智子  
松山智子 松山康子 平出景子 平岡真由美 平木千紗子  
廣田晃三 福田三ヨ 藤井幸子 藤平一恵 星秀彦  
前川隼子 増山民江 増山均 宮下浩 宮下雅枝 安正幸  
山崎順子 山崎トヨ 山田美也子 若林勝治 渡辺典子  
渡辺やす 渡辺ヨシ子

### ●団体会費

福田こどもクリニック 養徳園睦会

### ●賛助会費

青野浩子 青柳美子 阿部美代子 有賀節子 池節子 池田とし江  
伊藤孝子 伊藤一 岩村由紀乃 上田由美子 上野貞雄  
上野統子 内田昭夫 枝野啓子 江田みどり 大浦智子  
大島幸治 太田黒武久 大野育代 大畑玲子 緒方幸枝  
岡田敏江 小川守 小倉睦美 金澤伸子 金子達 上岡和江  
亀田文子 菊池崇訓 岸礼美 倉田克己 小森峯子 斎藤孝子  
桜井慶子 佐藤文代 佐藤善光 塩野目剛亮 下山千恵子  
菅又里美 鈴木俊男 鈴木俊男 鈴木由香理 関年子  
高野孝男 高橋真知子 竹原典子 館野晴代 谷川尚久 谷川麻記  
津崎哲雄 鶴田智子 鶴田誠 東城守 豊島優子 内木秀雄  
長久保ウタ子 那須恵子 沼尾弘一 野口英子 萩原寿夫  
浜崎豊子 原川由美 半田レイ子 日野奈々子 檜山昌江  
平木元 平橋文子 福田喜江子 福田進 福田仁美  
藤田勝春 藤田美代子 古澤栄子 北條昌子 浦坂哲星武  
増淵雅子 松浦万里子 松田典子 松本俊江 村尾光子  
村上信子 森瀧敏子 森荀子 山口恵子 湯沢千恵子 湯澤典子  
吉川泰夫 吉澤卓男 和久井隆 鷺尾倭子 渡部桂子  
渡辺秀子 渡辺里子 和田均

### ●寄付者

青木孝之 阿久津キン子 阿久津美千代 社会福祉法人あけの星会  
有村秀人 五十嵐紀久子 生野裕子 池節子 池田純子  
池谷正宏 石川浩子 石島浩子 石原栄子 石原けい子  
石山佳奈 磯部鈴子 糸井克 伊藤米子 稲見孝子 今井忠  
井村正治 岩田友子 上野統子 内山成史 宇都宮中央ライオンズクラブ  
宇都宮南ロータリークラブ 浦部延子

SBI 子ども希望財団 枝野啓子 海老原清修 遠藤忠 大野育代  
大畑玲子 岡田みち子 岡部昇子 岡本貞子 小川秀子  
荻町守 奥村幸子 小倉睦美 小村嘉子 小野崎千鶴子 柿沼恵美子  
粕田晴之 加藤久美子 加藤祥圭 加藤雅子 加藤美恵子  
鎌田篤子 川上寿一 川鍋節子 川辺晋 菊池崇訓 北川良江  
北島滋 喜内敏夫 車田孝夫 栃木県更生保護女性連盟  
児玉恵里 小林三枝子 小林幸正 小堀栄美子 近藤峰明  
齊藤幸子 齋藤孝子 齋藤昌枝 齋藤洋子 齊藤好江  
齋藤義弘 三枝早苗 肴倉恵美子 坂本政子 笹沼栄子  
佐藤貴美子 医療法人佐藤クリニック 佐藤マサノ 佐藤道子  
塩澤幹雄 渋井達子 渋川典子 女性の自立を支える会  
菅谷直子 杉山君子 鈴木俊男 鈴木八重子 全国自立援助ホーム協議会  
曾根美穂子 高木勇 高久礼子 鷹栖律子 高野省二  
高橋昭彦 高橋真知子 高原恵子 竹内敏雄 竹澤安子  
竹原豊子 田代英夫 伊達悦子 館野晴代 田村孝夫  
田村嘉應 多門孝 土屋キミ 寺崎恵美子 栃木県共同募金会  
栃木少年友の会 豊田省子 直井茂 那珂川町小川更生保護女性会  
長靴をはいたねこ 永野弘子 中村和子 中村光子  
西田一之 野澤洋子 野平明子 萩原寿夫 早坂富士香  
人見智子 日原典子 松山康子 平野敬 廣田晃三  
福泉水玲 福澤宏文 福田仁美 藤江泰子 藤岡浩美 古田美穂子  
星武 星秀彦 本澤祥子 本田紘海 増淵雅子 増山律子  
町田洋輔 松永昌子 美寿々すみ 南宇都宮キリスト教会  
小川暢子 宮澤祐一 宮下浩 村山雅子 矢口ヨシエ  
安正幸 山崎トヨ 山田一夫 山中節子 医療法人社団友志会  
若林勝治 和久井隆 渡辺厚子 渡辺秀子 和田寿子

なお、沢山の方からお米や野菜あるいは日用品などの物品をいただいております。ご芳名は省略させていただきますが感謝しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら当会までお問い合わせください。

### 【編集後記】

昨年度は恒例のチャリティコンサートをお休みしました。今年度は来年3月22日（縦文センター）で実施する予定です。趣向を変えて実施したいと考えていますのでお楽しみにしてください♪

理事長の星さんが還暦を迎えました。事務局のメンバーも平均年齢が高くなりました。一緒に活動してくれる若い（気持ち若ければOKです）方いませんか？

### 【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

\* 通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、正会員：5,000円、賛助A：5,000円/一口、賛助B：1,000円/一口、賛助団体20,000円/一口です。

\*\*\* 振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております！\*\*\*

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

発行日/ 2014年4月15日

発行責任者/ 星 俊彦

編集責任者/ 福田雅章

所在地/320-0037 栃木県宇都宮市清住1-3-48

電話/028-666-6023 FAX/028-666-6024

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

HP/ http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/